

第8回北海道MIST研究会開催報告

2021年9月11日(土)にオンライン形式で第8回北海道MIST研究会が開催されました。本来は2019年の第7回後、2020年に実施される予定であった本会ですが、同年初頭から始まったCOVID-19感染症が夏になっても収束する気配がなく、1年延期となりました。延期決定時も1年後に同様の状態が続いているとは予想しておりませんでした。社会情勢は未だに、とくに医療業界では一堂に会する研究会を開催することは躊躇する状況でした。そのため当時一般的であったZoomを用いたオンライン形式での開催といたしました。

特別講演は大阪市立大学(現大阪公立大学)整形外科寺井秀富先生に「骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術療法の経験と工夫-椎体形成術～椎体再置換術まで-」のテーマで、豊富な経験を元に骨粗鬆症性椎体骨折への手術を幅広く話していただきました。

一般演題は全部で10演題ありました。今回はこれまでのMIST研究会で対象だった脊椎固定術に関する演題に加え、脊髄の血管奇形、嚢胞性病変、neuromodulationの演題もあり、MISTに名称変更されたことを感じる会でした。いずれの演題でも活発に情報交換が行われていました。

ようやく慣れてきたオンライン開催が滞りなく終了したのは、PC操作をサポートしてくれた共催の旭化成ファーマ株式会社の方々のおかげでした。同社の方々、そして御多忙中に御参加・御発表いただきました諸先生に、改めて深謝申し上げます。そしてもう二度とこのような開催をしなければならぬ時代が来ないことを願いつつ、報告を終えさせていただきます。

第8回北海道MIST研究会 当番幹事
手稲溪仁会病院整形外科脊椎脊髄センター
青山剛